

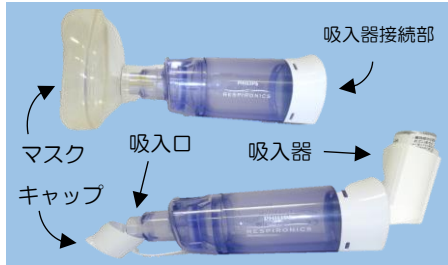
(効果的な吸入に必要な9つのポイント)

- ① デバイス保持 (垂直) ② カウンター指差し確認 ③ 通気口の位置 ④ ボタン・レバー操作はしっかり行う ⑤ 口角を閉じる
- ⑥ 息吐き (吸入前・吸入後) ⑦ 吸い方 (ゆっくり深く) ⑧ 息止め (指折り5秒間) ⑨ うがいは必ず行う (ガラガラ、ブクブク各2回)

《部位の名称》



- カウンター付き製品
・アドエア
・メプチンエア
・メプチンキッドエア
- 目盛り付き製品
・フルティフォーム



《残薬の確認方法》

- ・ポンペを押すたびにカウンターが減る
- ・カウンターが0になった回の吸入が終わりましたら、次回からは新しい吸入器を使用して下さい
- ・カウンターの無いものは専用の残量計又は残数確認シールで確認できる

・主薬と噴霧ガスを均一にするため吸入器を振りますが、患者の混乱を防ぐため振る必要のないものも全て振ると統一する

	手順	ポイント
① 薬の準備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開封時は、試し噴霧を () 回行う ■ 操作はポンペの底が上になるように垂直に持ち行う □ カウンターで残量確認する (カウンター付のもの) □ スパーサーと吸入器のキャップを外す □ 吸入器をよく振る (A) □ ポンペの底が上になるように垂直にスパーサーに取り付ける (B) 	<p>・垂直に持ち操作しないと正確な1回分量がセットされない</p>
② 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> □ 無理のない程度に、「ホー」と息を吐き一旦止める (スパーサーの吸入口には息を吹きかけない) 	<p>・息吐きと吸入をそれぞれしっかりしていただくために、息吐き後一旦息を止め吸入する</p> <p>・吸入時「ホー」の口で吸うので「ホー」の形で息吐きを行い、のどの形を準備する</p> <p>呼気量 ≧ 吸気量</p>
③ 吸入	<ul style="list-style-type: none"> □ スパーサーの吸入口をくわえ、ポンペを1回押し薬剤を噴霧後、口角を閉じ、3秒間ほどかけて、ゆっくり深く、最後まで息を吸い込む □ マスク使用時は顔に密着させ5回程度 (15秒程度) 呼吸を繰り返す (④⑤は不要) 	<p>・深呼吸するイメージで吸う</p> <p>・1回の吸入ごとに1回噴霧する</p>
④ 息止め	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入器から口を離し、口を閉じ、指折り5秒間息を止める (無理のない程度で良い) 	<p>・深くとは「長く吸う」と解釈する</p> <p>・「ホー」の口で吸うと、のどが開き舌が下がり効率よく吸えるというデータがある</p> <p>・肺に多くの薬を定着させる</p>
⑤ 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> □ 鼻からゆっくりと息を吐く 	<p>・口から吐くと速くなることがある</p>
繰り返し	<p>・吸入口に息を吹きかけないようにする意味も込めて鼻から抜くことが良い</p> <p>・ステロイドに限っては鼻腔内における抗炎症作用が期待できるとの報告がある</p> <p>吸入後に鼻から息を吐きだすことで気管支などに定着できなかった薬が鼻の中に定着する</p> <p>その為、吸入後に鼻から息を吐きだすことでアレルギー性鼻炎や好酸球性副鼻腔炎に効果が期待できる</p>	
⑥ 後片付け	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入器をスパーサーから外し、吸入器およびスパーサーのキャップをしっかり閉じる <p>スパーサーの取り扱いはメーカーの説明書に従う</p>	<p>・キャップを閉じる前に吸入器を拭く</p>
⑦ うがい	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入後はブクブクうがい、ガラガラうがいを各2回ずつ行う 	<p>・口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す</p>

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚔声などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをする
それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うようにする